

国土交通省
北陸地方整備局
東北地方整備局

記者発表

配布日時

平成23年3月17日

岩手県宮古港に第一船(白山)入港

～宮古への支援船の入港が可能になりました～

平成23年3月17日(木)午前9時40分、岩手県宮古港に東北地方太平洋沖地震発生後、初めての船舶が入港・着岸しました。

今後、港長(釜石海上保安部)確認の後、宮古港への支援船の入港が可能となります。

今回着岸した船舶は、国土交通省北陸地方整備局が保有する大型浚渫兼油回収船「白山」で、宮古港藤原第二岸壁(水深10m)に着岸しました。

3月17日(木)の着岸後は、着岸岸壁において、「白山」燃料油(A重油)の一部を東北地方整備局のミニローリーにより宮古市に支援します。

なお「白山」は、3月16日(水)宮古港沖合にて、関係機関の協力を得て小型船を介し宮古港藤原第二岸壁に緊急支援物資を陸揚げし、東北地方整備局が手配したトラックにより宮古市指定の支援物資集積所に配送しました。

【資料】別紙 宮古港(岩手県)における「白山」による支援物資の海上輸送

【問い合わせ先】

北陸地方整備局 港湾空港部
海洋環境・技術課 佐川

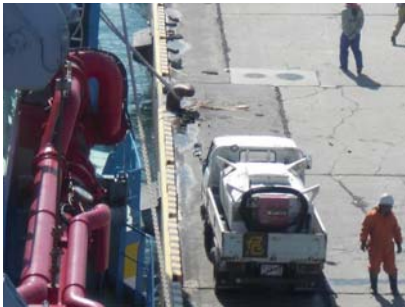
TEL 025-280-8761

FAX 025-280-8783

宮古港(岩手県)における「白山」による支援物資の海上輸送



重油積み出し作業状況



■ 積み出し量	
○ A重油	10,000 リットル
■ 輸送車両	
○ ミニローリー	1,600 リットル 積み